

連載

学校運動部活動と連携するクラブ

NPO法人たかはら那須スポーツクラブ

<栃木県矢板市>

学校運動部活動をめぐっては、少子化による生徒の減少、それに伴う教員数の減少、専門的指導力を持つ教員の不足等により、生徒のニーズに応じた部活動自体が成り立たなくなる現状があります。

スポーツ庁および文化庁が策定した「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン(令和4年12月)」において総合型クラブと学校運動部活動との連携が示されています。

そこで今回は、学校運動部活動と連携するクラブの取り組みを紹介します。

1 クラブ概要

矢板サッカークラブが中心となって、平成17・18年の2年間「文部科学省委託事業・総合型地域スポーツクラブ育成推進事業」-育成指定クラブ委託事業-により、総合型地域スポーツクラブ設立の準備を進めてきました。

助成金を活用し運営施設を整備→自己所有施設(サッカー関連)

平成19年3月に、サッカー中心の総合型地域スポーツクラブ「たかはら那須スポーツクラブ」を設立し、同年11月に円滑かつ継続的に事業を展開するため、NPO法人格を取得しました。

平成24年に、スポーツ振興くじの助成金をいただき、矢板市内にヴェルフェフィールド(人工芝フットサル場2面とクラブハウス)をオープンしました。

令和元年には、日本サッカー協会・栃木県サッカー協会・スポーツ振興くじの助成金をいただき、とちぎフットボールセンター(人工芝サッカーフルピッチコート2面と鉄骨造り2階建てクラブハウス)を整備し、自己所有施設のある総合型地域スポーツクラブとして活動しています。

クラブ名称の「たかはら那須」は、栃木県北の高原山と那須岳を象徴としてクラブ運営を進めるため、両方を合わせて命名されました。クラブ内のサッカー部門は、「ヴェルフェ矢板」の名称で活動しており、各種大会で好成績を残しています。ヴェルフェは、フランス語の〈Vert:緑の〉〈Fee:妖精〉の意味の造語です。



リアンビレッジ矢板(とちぎフットボールセンター)
人工芝サッカーコート



リアンビレッジ矢板(とちぎフットボールセンター)
クラブハウス

会員の半数はサッカー、他に16種目を実施

現在の会員数は580名。サッカー部門が290名、その他(16種目)290名です。その他の種目は、エアロビック、弓道、健康体操、剣道、柔道、太極拳、ラージボール卓球、ダンス、チアダンス、バスケットボール、バドミントン、フィットネストレーニング、フットサル、ボクシング、ヨガ、ユニカールです。

事務局は、5名で運営しクラブハウス内に事務室を備えています。



2 部活動の地域移行で矢板市と連携

●学校部活動との連携のきっかけや経緯

平成3年度地域運動部活動推進事業(休日の部活動の段階的な地域移行に関する実践研究)を矢板市が希望する際に、その運営団体として連携をさせていただきました。

●学校以外に連携した団体や関係者

矢板市スポーツ協会、各種目競技団体。

矢板市部活動検討会議のメンバーに、矢板市スポーツ協会や各種目競技団体の関係者がいらっしやることで連携がはかどりました。また、当クラブ立ち上げの頃からのつながりもあり、指導者の紹介などで連携をしております。

●具体的な取り組み内容

① 市教育委員会との委託契約

② 関係団体との人材確保における連絡調整＝各種競技団体との連絡調整

③ 事業説明会の実施(学校で開催)

対象者・時期:4月初め＝学校(教員)への説明会、4月中旬＝学校(保護者)への説明会

説明内容:対象となる運動部活動顧問の時間外勤務総時間数が削減できるようにする。

教員の負担感の軽減を図る。

専門的な技術指導により生徒の意欲や技術の向上を図る。

中学生のスポーツ活動を地域が担える指導体制の構築を図る。

指導を希望する教員が兼職兼業を申請して指導にあたる仕組みを構築する。

平日も指導に携わっている運動部活動補助員や部活動指導員が週休日も積

極的に参加し、顧問教員と連携しながら一貫指導を行う。

地域部活動へ移行する運動部活動数:6部/12部

地域部活動の実施期間:9ヶ月

地域部活動指導者を派遣する頻度:月4回(平均) 費用負担なし。

説明会参加者の反応ですが、平日も指導に携わっている運動部活動補助員や部活動指導員が週休日にも指導を行い、指導を希望する教員が兼職兼業で指導を行うことで、指導者が変わらないという安心感があつたようです。また、費用負担のないモデル事業という点もスムーズに受け入れていただけた要因だと思います。

④ 指導者研修会の実施

主催は矢板市教育委員会で、当クラブと連携して行いました。

名称:矢板市地域部活動指導者研修会

内容:講話「部活動指導員に求められる資質について」

講師:栃木県教育委員会 塩谷南那須教育事務所学校支援担当者

質疑応答・情報交換

参加者数:13名(地域部活動指導者、運営団体、中学校、生涯スポーツ・生涯学習担当課、学校部活動担当課の各関係者)

実施頻度:年1回

⑤ 当該中学校との連絡調整

⑥ 当該中学校への指導者の派遣

- ⑦ 当該中学校部員への活動提供(柔道部、剣道部、弓道部、男子バスケットボール部、女子バスケットボール部、サッカー部)

※サッカー部は、教員の兼職兼業の希望があり、教員に指導を依頼しました。サッカー以外の5部活の指導者については、平日の外部指導者に休日も指導を依頼しています。

上記の⑤から⑦に関して感じたことですが、当該中学校ならびに当クラブ双方において、モデル事業実施上での連携に終始し、課題を主体的に検討するまでは至りませんでした。課題としては、学校による検討委員会の設置、指導者の確保、運営団体の組織強化等が挙げられます。



●取り組みを進めてきた中で得たこと

- ① 対象となる運動部活動顧問の時間外勤務総時間数の削減
- ② 教員の負担感軽減
- ③ 専門的な技術指導による生徒の意欲・技術の向上
- ④ 中学生のスポーツ活動を地域が担える指導体制の構築
- ⑤ 兼職兼業の仕組みを構築
- ⑥ 平日・休日の一貫指導体制の構築

●取り組みを進めてきた中で得た改善点

地域運動部活動の専任担当者を置く余裕がなかったため、他の業務との兼務で運営を行いました。各種調整作業が少なく、指導現場の確認も満足ではありませんでした。

また、今回は各部活動1名の派遣となりましたが、指導者の意見を踏まえ、部員数の多い種目へは複数名の派遣が望ましいと思いました。

●種目増で検討を要する施設管理面

現地域運動部活動推進事業では、実施種目の使用施設である体育館、武道場、弓道場、部室が、いずれも学校関係者が管理している教育棟とは別のため、地域指導者に鍵の管理をしてもらっていますが、今後種目が増え教育棟を使用する場合の施設の管理をどうするか、検討を要します。

3

アンケートで浮き彫りとなった検討課題

●保護者と地域指導者で認識に隔たり—アンケート結果

矢板市が実施した「部活動を将来、学校が継続して担うべきか」というアンケートでは、地域指導者、保護者、教職員のどの立場においても、「将来的には地域で担うべき」と回答しています。その上で、保護者の多くがこれまでどおり「学校教育の一環としての活動」を望んでいます。一方、地域指導者は「学校教育の一環」とはだれも回答せず、「平日は学校、休日は地域」という形式を回答しています。

●立場の違いを尊重しつつ活動の目標・方針を定めることが重要

生徒は、「友達と楽しく活動ができている」ことを1番に挙げ、2番目は「大会・コンクールでの好成績」となっています。地域指導者は「大会・コンクールでの好成績」を1番に挙げ、「練習内容の精選・工夫」を次に挙げています。保護者と教職員はともに「チームワーク・協調性・共感」を1番に挙げており、「大会・コンクールでの好成績」を必ずしも重視してはいません。

以上のことから見てくるのは、単純に「結果だけを重視している」とか「結果は求めている」ということではないということです。立場の違う人が関わる中で、互いの思いを尊重しながら各部活動の活動目標や方針を定め、納得して活動に取り組むことの重要性を示していると考えます。まずは、学校において検討委員会等を設置する必要があると思います。

アンケートの詳細は、[こちら](#)からご確認ください。

4

地域移行推進に伴い、クラブ内に専属担当者を

今後、地域運動部活動が推進されていくことに伴い、クラブ内に専属の担当者を置き、市内各中学校の運営団体となれるよう準備をしていきます。

サッカー以外の種目では「楽しくスポーツ活動」を

クラブ内の事業には、地域運動部活動の対象とはならない種目・チームもあります。サッカー部門では、競技力向上を目標にしているチームがありますので、各種大会での上位入賞や上位大会への参入を目指します。その他のスポーツ種目においては、その種目の目標に向かって、会員を増やし、楽しくかつ長くスポーツ活動ができるよう準備します。

(NPO法人たかはら那須スポーツクラブ 理事長 大森 崇由)

クラブプロフィール

設立年月日 平成19年3月11日(平成19年11月27日法人登記)

所在地 栃木県矢板市末広町49-2

運営 会員数580名(令和4年3月現在)、予算規模4,241万円(令和4年度)

特徴

- ・サッカー中心の総合型地域スポーツクラブ
- ・自己所有施設を保有
- ・人工芝サッカーフルピッチコート2面
- ・鉄骨造り2階建てクラブハウス
- ・人工芝フットサルコート2面
- ・木造2階建てクラブハウス
- ・地域運動部活動推進事業を受託

連絡先 〒329-2162 栃木県矢板市末広町49-2

TEL 0287-43-3189 FAX 0287-47-6135

URL <https://vertfee.com/>

E-Mail info@t-nasu.com

